

シラバス参照

開講年度	2023
講義コード	020255JE
科目ナンバー	[23]-[LIB]-[GCF]-1 [17]-[LIB]-[RSN]-1
開講semester	春クウォータ1
講義名・クラス名	特殊講義(共通教養科目)JE
担当教員	嶋田 泰也
備考	<p>不正行為(カンニング、剽窃等)は自ら学習する権利を放棄し、APUで学ぶ資格を失う行為です。不正行為は厳重な処分の対象となります。</p> <p>Academic misconduct (cheating, plagiarism, etc.) during an examination amounts to an abandonment of one's own right to learning and will result in a student's disqualification from study at APU. Academic misconduct is subject to severe punishment.</p> <p>履修する科目を選択するにあたり、当該科目における学びの内容、授業手法や設計方法などを踏まえ、参考とする情報の一つとして活用することを目的に授業評価アンケートの公表を行っています。</p> <p>We publish the class Evaluation Survey Results to give students information about course content, teaching methods, course design, and other items on reference when choosing their courses.</p> <p>URL https://en.apu.ac.jp/academic/class_info/class_evaluation_survey/</p>

講義分野(講義内容に関するキーワード)	<p>観光学、観光産業、ホスピタリティ産業、サービス産業</p> <p>本科目は、オリックス・ホテルマネジメント株式会社及び別府温泉杉乃井ホテルとAPUとの、産学連携プログラムとして開講される。</p> <p>当フィールドの設定は、関心のある分野に該当する科目を検索、閲覧するものです。興味のある分野を示しているだけであって、卒業に必要な単位区分とは関係がありません。単位区分については、ハンドブックを参照の上、履修するようにしてください。</p>
履修の目安	観光学、観光産業、ホスピタリティ産業の基本知識を理解していること。
授業概要	<p>※本科目は、「020255JE 特殊講義(共通教養科目)JE」科目(2単位)と「020255JH 特殊講義(共通教養科目)JH」科目(2単位)と合わせて開講される科目です。いずれか1つの科目のみを履修することはできません。</p> <p>※本科目は、YOUNG准教授及びオリックス・ホテルマネジメント株式会社および、プロクリエイターの方々による授業です。</p> <p>12月上旬に、別府温泉杉乃井ホテルにおいて、APU学生と杉乃井ホテルの専門スタッフが共同でプロデュースする「マルチカルチュラル・フェスティバル/MCF」を開催いたします。MCFは、杉乃井ホテル宿泊者・利用者を対象としたイベントで、企画、マーケティング、広報、予算執行・管理、企画運営、収支決算など、全てホテルの正式な企画として実際のビジネスレベルで実施します。</p> <p>本科目では、MCFのイベントに出演する側ではなく、企画を作り上げるプロデューサーとしての役割を学びます。オリックス・ホテルマネジメント(株)及び杉乃井ホテルの各分野の専門家から企画・マーケティング・広報などの教えを受けるとともに、そうしたプロの人材と一緒にMCF企画を作り上げます。</p> <p>以下の通り、通常と異なる授業日程で行いますのでご注意ください。</p> <p>【授業日程(計4単位分)】</p> <p>2023/04/21 4時限&5時限:セッション1 プロジェクト説明&チームビルディング</p> <p>2023/04/28 4時限&5時限:セッション2-① マーケティング戦略</p> <p>2023/05/12 4時限&5時限:セッション2-② マーケティング戦略</p> <p>2023/05/19 4時限&5時限:セッション3 地域課題への取り組みについて</p> <p>2023/05/20,21 終日:セッション4 参与調査(杉乃井ホテル、別府市)</p> <p>2023/06/3,4,5 終日:セッション5 デザイン思考によるMCF観光コンテンツ企画立案&提案プレゼンテーション</p>
到達目標	<p>本科目では、オリックス・ホテルマネジメント株式会社との産学連携プログラムの一環として観光・ホスピタリティ産業の「マルチカルチュラル・フェスティバル/MCF」の企画を行う。以下を到達目標とし、経営的視点を持ち、地域や社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>1)戦略的視点、俯瞰力、変化への対応といった経営的視点を持つことができる。</p> <p>2)マーケティングに関する(コンセプト、ターゲット、商品企画、販売チャネル、料金の設定、プロモーション策定)戦略立案を実践で学ぶことができる。</p> <p>3)別府市に関する中長期的な視点を持ち、杉乃井ホテルおよび別府市に関する課題に対して対応することができる。</p> <p>4)上記課題を解決するために新たな観光コンテンツである「マルチカルチュラルフェスティバル」の認知度と付加価値の向上に必要な取り組みについて、様々な事例を踏まえ、自ら提案することができる。</p>
授業方法	<p>・本科目は、一方的に授業で知識を詰め込むインプット型の学修ではなく、グループ学修やディスカッションを活用したアウトプット型の学修スタイル(Active learning)を採る。またホスピタリティ業界に関する研修(座学と実施研修)をPBL形式で学ぶことで、デザイン思考によるマルチカルチュラルフェスティバルの企画立案(コンセプト、ターゲット、商品企画、販売チャネル、料金の設定、プロモーション策定)に関する理解を深める。</p> <p>・本授業は、オリックス・ホテルマネジメント株式会社とAPU教員によるクラス全体への講義、インタビュー、グループで行なわれるディスカッション、アクティビティ、プレゼンテーション、演習作業の組み合わせを基本とする。各グループは本授業を通じて特定の1つのテーマについて協同学習(グループプロジェクト)を行う。</p>
毎回の授業の概要	<p>授業は、以下の日程で実施されます。</p> <p>※イレギュラーな日程で開講されますので、予め必ずスケジュールを確認の上、時間割に重複がない事を確認して受講して下さい。</p>

	<p>【授業日程(計4単位分)】 2023/04/21 4時限&5時限:セッション1 プロジェクト説明&チームビルディング 2023/04/28 4時限&5時限:セッション2-① マーケティング戦略 2023/05/12 4時限&5時限:セッション2-② マーケティング戦略 2023/05/19 4時限&5時限:セッション3 地域課題への取り組みについて 2023/05/20,21 終日:セッション4 参与調査(杉乃井ホテル、別府市) 2023/06/3,4,5 終日:セッション5 デザイン思考によるMCF観光コンテンツ企画立案&提案プレゼンテーション</p> <p>【各回の授業の概要】 2023/04/21:セッション1 プロジェクト説明&チームビルディング ・Session 1:オリエンテーション&チームビルディング「学びと創造のプロジェクト～第一歩をここから！」 ・本プロジェクトの概要、位置付け、到達目標、講義の進み方について説明する ・観光・ホスピタリティ業界におけるMCFの商品・プラン企画化の概要と必要性について説明する ・チーム編成/アイスブレイク</p> <p>2023/04/28:セッション2 マーケティング戦略 ・Session 2: マーケティング戦略「比較と分析から競合ホテルのマーケティング戦略を探る！」 ・プロジェクトや商品企画、ホテル運営において指針となるコンセプトを設定することの重要性を説明する。 ・STP4Pなどマーケティング戦略について学び、マーケティング戦略を検討・策定することの重要性を説明する ・ケーススタディ:観光・ホスピタリティ産業におけるマーケティング戦略の違いを競合他社との比較から分析する。 ・同じファミリーリゾートである杉乃井ホテル/星野リゾート/リゾナーレのマーケティング戦略の違いを、資料やサイト情報などから読み取り、マーケティング戦略の違いが消費者に届くクリエイティブの違いにどうつながるかを分析する。 ・ワークショップ:両施設のマーケティング戦略についてチーム別発表準備・プレゼン準備 ・チーム発表・討論</p> <p>2023/05/19:セッション3 地域課題への取り組みについて ・Session 3: 地域課題への取り組み「別府市の課題は?俯瞰的に街の課題を知る！」 ・プロジェクト活動の一環として地域課題を認識し、観光課題の解決あるいは生活者の課題解決につながるニューツーリズムの開発に向けての視点を持つ。大分地域の現況や懸念点などに関する講演。 ・別府エリアの観光課題、消費者ニーズにつながるような社会課題 ・観光事業における動きやトピックス ・新しい観光資源開発やニューツーリズムへの視点、視野拡大につながる示唆 ・別府市の社会課題の共有(大同窓会についてなど) ・ワークショップ:講演内容を参考に今後の地域の課題についてチーム別発表準備・プレゼン準備 ・チーム発表・討論</p> <p>2023/05/20,21:セッション4 参与調査(杉乃井ホテル、その他別府市地域) ・Session 4: 参与調査「街の人たちと一緒に別府の課題を考えよう！」 ・参与調査の中で、別府市地域における観光の課題、MCF実施における実施場所の検討、実施における課題等を調査する。 ・ユーザーの立場で杉乃井ホテルの施設を体験して、感じたことなどを調査。 ・ワークショップ実施:参与調査の結果をまとめてチーム別発表・討論</p> <p>2023/06/3,4,5:セッション5 MCF観光コンテンツ企画立案&提案プレゼンテーション ・Session 5: デザイン思考による企画立案(コンセプト、ターゲット、商品企画、販売チャネル、料金の設定、プロモーション策定)「MCF2023のカタチを探る！」 ・ワークショップ:MCFプロジェクトのプロジェクトコンセプトを理解し、地域課題を取り込み、杉乃井コンセプトに沿ったうえで、MCFの今期のコンセプト・方針をデザイン思考のワークフレームも活用しながら策定する。 ・MCF2022の振り返り。 ・Day1、Day2分析・企画立案 ・参与調査で得た経験、学習したマーケティングや地域課題を踏まえ、11月のMCFイベントのための各種分析を行い、イベント企画を立案します。 ・どのような人たちに来てほしいか、その人たちの価値観は何か、何を求めているか、ターゲット設定からMCFにおいて顧客に提供すべき価値を検討し、MCFの今期コンセプト(テーマ)を設定する。 ・設定したターゲットおよびコンセプトに従って、イベントチームとも連携しイベント内容を検討する。 ・販売チャネル、料金の設定、広告・プロモーションへ落とし込みを行う。 ・Day3プレゼン準備&プレゼン ・チーム別発表準備・プレゼン準備 ・発表・討論→立案したイベント企画についてプレゼン実施。</p> <p>第一フェーズ終了後、実際に本課目で創出した企画を推進・実現するプロジェクトマネジメントを学ぶ第二フェーズも準備中(課目外、任意参加) ・時期未定:セッション6 広告、プロモーション戦略立案 ・時期未定:セッション7 企画提案プレゼンテーション(OHM社長) ・以降:MCFプロジェクト推進</p> <p>※第二フェーズ「マルチカルチュラル・フェスティバル」実行委員の定員は16名～20名程度を想定しています。第二フェーズ実施にあたっては、別途面談等を実施し、実行委員メンバーを選抜します。</p>
授業外学習(予習・復習など)の内容と分量	教員が予め示す記事・論文などの関連資料を授業前に読んでおく必要がある。
成績評価方法	講義への取り組み(全体講義、グループアクティビティでの発言、資料作成など参加度合):20% チームワーク(チーム最適視点で行動、発言ができてきているかの評価):20% 各セッショングループ課題(マーケ、地域、参与調査など):30% グループ最終発表:30%
多文化協働学修の実践方法	・多様な文化的背景を持つ学生の間でディスカッションすることで多文化に関する理解能力を高める。 ・授業中、学生が主体的・能動的にグループワーク及びグループプロジェクトを行うことで各国の文化の多様性を学ぶ(文化的背景・学年を考慮し、バランスよくグループング)。
授業担当教員の実務経験	業界/Field/Industry ①旅行・宿泊・レジャー ②公社・官公庁・学校・研究施設 所属部署/Department/office ①Front Office, Novotel Kangam Seoul; Food & Beverage, Ein-Gev Holiday Resort, Israel ②Korean Research Institute for Human Settlement (KRIHS), Ministry of Construction and Transportation; the Destination Marketing Lab,Kyonggi University, South Korea
学生への要望事項	・本科目は、学生がグループワークを通じて授業に積極的に参加する機会を、他の授業に比べ、より多く設ける。したがって、履修者には、積極的に意見発表を行う姿勢が強く求められる。 ・本科目では、クォーターを通じてグループで協同学習を行う。そのため、特別な事由なく授業に欠席・遅刻したり、課題を提出しなかったりすると、自分の学習に支障が生じ、同じグループのメンバーにも迷惑となる。従って、毎回の授業には最初から最後まで参加し、課題は期限までに必ず提出することが求められる。 ・教員が予め示す記事・論文などの関連資料を授業前に読んで授業に参加すること。

テキスト備考	テキストの指定はない。必要に応じ、授業中に資料を配布する。		
テキスト(授業を履修する上で、購入が必須となる書物)			
参考文献備考			
参考文献(図書、視聴覚資料)*ライブラリーリザーブコーナーに設置			
参考文献(雑誌、年鑑白書等)			
備考			
担当教員研究室電話番号			
担当教員E-mailアドレス	mefohmapu@gmail.com		
E-Book および 関連ページ	1.	マルチカルチュラル・フェスティバル2022参考ページ1	マルチカルチュラル・フェスティバル2022紹介(APUサイト)
	2.	マルチカルチュラル・フェスティバル2022参考ページ2	マルチカルチュラル・フェスティバル2022紹介(オリックスサイト)
	3.	2022年度MCFメイキング映像	※3月上旬公開を予定